

# ひるがみ

第 84 号

令和 3 年 11 月 30 日

発行

障害者支援施設  
阿智温泉療護園

社会福祉法人 下伊那社会福祉会

〒395-0304

長野県下伊那郡阿智村智里昼神

TEL 0265-43-3172 FAX 0265-43-3173

ホームページ

<http://achion.com/ryougo/>

## 秋の交流会

山の木々も段々と色づいてきた十月十三日に秋の交流会を行いました。今年は利用者さんも楽しく参加できる会にしようと思い、パラリンピック競技の『ポッチャ』をレクで行いました。昼食は皆

さん大好きな五平餅をメインにした食事を提供しました。パラリンピック開催中、テレビを見ていた利用者さんから「ポッチャやりたいな」という声があり企画してみました。当日は皆さん



初めてのポッチャに利用者さんも興味津々。  
狙いを定めても思ったところにボールが転がりません。

楽しそうにボールを投げたり、投げるのが難しい方は板を使用し転がしたりと思いいの投球フォームで得点を狙います。皆さん笑顔で参加され、予想より白熱した対戦で盛り上がり「面白かった」「楽しかった」と感想が聞かれました。

昼食では音楽を流しながらゆったりとした雰囲気の中で食べてもらいました。「美味しい」「大好き」等言いながら嬉しそうに食べられており、普段あまり完食されることがない方もすっかり食べているようで表情からも大変満足されている様子でした。

久しぶりに皆で集まって和気藹々とした時間を過ごす事ができ、企画した側としても良かったと感じています。実行委員はもちろんのこと、当日は全職員が協力して下さり円滑に行う事が出来ました。ありがとうございました。

(A・K)



楽しみにしていた献立は  
○御幣餅(5本食べた強者もいました)  
○豚汁 ○茶わん蒸し  
○デザートバイキング(ミニケーキ3種類) でした。

## 新任職員挨拶

九月からお世話になっていきます、看護師の平沢八代美です。

前職は十三年ほど病院勤務で、急性期から慢性期の患者さんの看護や高齢者の退院支援

に関わっていました。病院という非現実的な

環境から利用者さんの生活の場である施設で働くのは初めてであり、中々慣れない部分

もありましたが、二ヶ月が過ぎ、医務室の先輩方の指導や、利用者さん、職員の方々から

声を掛けてもらえることが多くなり仕事にも徐々に慣れてきたところで

です。まだまだ不慣れではありますが

ありますが、看護師として利用者さんが安心して過ごせるお手伝いができればと思っております。今後ともよろしくお願い致します。

またまだ不慣れではありますが、看護師として利用者さんが安心して過ごせるお手伝いができればと思っております。今後ともよろしくお願い致します。

## 福祉職員生涯研修

十月四日、五日の二

日間にわたり福祉職員生涯研修の中堅職員課程が行われました。

コロナ禍での開催との事で療護園にてオンラインで行いました。

初めての経験で緊張もありましたが、やってみるとオフラインの研修と違う雰囲気ですぐに慣れることが出来ま

した。私は新人の頃、福祉職員生涯研修の初任者課程を受けました。あれから時がたち中堅職員として今回の研修を受けることが出来た事を感慨深く思います。

研修の中では私が発表した仕事の事例をグループで問題点や解決策を話し合う時間がありました。中堅職員と

胸骨圧迫です。それぞれのポイントを参考に実行することが大切です。私は少し不安な所はありましたが、胸骨の圧迫の度合いが前よりは分かるようになりました。

参加した方が良いと思えました。

それから心肺蘇生法を実際に行いました。これも一分どころか一秒でも早い応急手当が重要だそうです。手順にそって、反応の確認

や119番通報と協力者への依頼、そして、呼吸の確認、それから

いた電気ショックをやってみました。何度も

いっても業種も様々でグループワークで議論を交わすことはとても有意義で時間があっという間に過ぎていきました。

(T・S)



講習の様子になります。

## 救命救急講習会

十月二十八日に救命

救急講習会がありました。私はこの職場に入

ってからは二回目の参加です。PTAで講習

会には参加していましたが、いつも緊張感で

いっばいになります。まず、「救命の連鎖」

ということを学びました。心停止の予防と早期認識と通報、そして

一次救命(心肺蘇生とAED)はその場に居

合わせた人が行えば生存率が高いそうなの

で、なるべく多くの人が救命救急講習会など

が救命救急講習会など

胸骨圧迫です。それぞれのポイントを参考に実行することが大切です。私は少し不安な所はありましたが、胸骨

の圧迫の度合いが前よりは分かるようになりました。

そして、AEDを用いた電気ショックをやってみました。何度も

やってみました。何度も

やっているけど、もし

実際にやってみた場合、最終的な手段なのでAEDの取り扱い

はしっかりと学んでいき

たいと思いました。救命救急講習会では改めて

救命の大切さを知りました。

(H・S)

# 放送レクリエーション

八月十一日に少し前に入社された職員（Ｔさん）の放送レクリエーションを行いました。

自己紹介を兼ねたレクで内容は担当職員の自由となっていました。今回はだまし絵の写真を用意して頂き、利用者様と一緒にどの様なだまし絵となっているのか？予想しながら答え合わせを行う内容で楽しんで頂き



ました。

一つの絵に二つのものしくはそれ以上の異なる絵が描かれており、すぐ分かる物から上下を変えたり左右を変えたりすると浮かび上がってくる物までと様々でした。

利用者様も直ぐに分かる方から、一緒にヒントを出しながら答えに辿り着く方までと様々でしたが、皆様笑顔で楽しみながら参加して頂き有意義な時間を過ごして頂いたのではないかと思います。

(T・M)

# 療護園と《施設臭》

かつて私が住んだ地域に障害者支援施設が建てられる時、そこに関係する方々に同行して私も、方々の施設を見学して巡ったことがあります。その度に閉口したのは、それぞれの玄関を入るとウツと

くる臭気でした。恐らくは人数が密集することによるいろいろな臭いが複雑に入り混じった物なのでしょう。

今の療護園では、そういう臭いが余りしません。これは、きつと、空調システムが完備さ

れているためだとは思いますが。しかし、支援員さん達による徹底した衛生管理がそれと相俟つての効果であることも見過ごしてはなりません。すまい。

《施設臭》は、入居している利用者を限りなく無気力にするのです。(利用者H・K)

## 介護員室だより

長引くコロナウイルス感染症により、楽しみにしている外出ができずにいる利用者様。

「コロナが落ち着いたらまず買物に行きたいでしょ？」の問いかけに「お墓参りに行きたい・・・」と言われる方が何人かいらっしや「えっ？大好きな外食

と買物かと思ったよ」とビックリする私に、「お墓参りに行きたいよ、何年も行けてないもんで・・」とおっしゃられる。

今まで両親やご先祖様実家を偲びお参りすることで、生活にハリを感じていらしたであろうに、ここ何年かお参りできずにいる気持ちを考えるとなんと

言えなくなる。コロナが終息し一日も早くお墓参りに行き、ご両親ご先祖様を偲びお参りできる日を切に願う。その時は、お花を持って行きましょうね。

(K・S)



# あじさい会



いざ! 勝負!!

6

8



VS



“6”と“8”で8の勝ち～



焼うどん



たこ焼き



ちょっと高級なアイス



お好み焼き

今日はおかわり自由。ただしピザだけは一人一切れに限定させていただきます。

七月七日にあじさい会が開催されました。コロナ禍で様々な行事が中止になる中、利用者さんが心待ちにしていたイベントです。感染症対策として南棟・北棟に分かれて、レクリエーションを行いました。

南棟は二チームに分かれてトランプゲームの「戦争」をモチーフにしたゲームを行いました。まず一人一枚ずつカードを引き、両チーム



外野も固唾を飲んで見守ります。

のリーダーが相手チームから互いに一人ずつ指名します。そして指名されたプレイヤーがカードを出し合い、大きい数字のチームが勝利となります。いざゲームが始まると、小さい数字でもあり、最後まで勝負がもつれ、最終戦で勝った方が勝利というドキドキとしたゲーム展開に、非常に盛り上がる事ができました。

～やってみよう～  
この状態で中指を動かすことは出来ますか？



職員によるマジックに、皆不思議そうに目をパチクリしています。



楽しい昼食会を挟んだ後の午後、今度は北棟のレクリエーションが始まりました。ご馳走でお腹がいっぱいになった後でしたので、眠たそうな利用者さんもいましたが、職員によるマジックショーに、「おー!」「不思議」

## 現況報告

といった声が沢山ありました。  
この日ばかりは、非常日常を楽しむ事ができました。(N・Y)

令和三年十一月一日現在  
利用者 四十四名  
職員 四十三名  
(非常勤職員を含む)

## 編集後記

十月より面会が条件付きでは有りますが、再開になりました。徐々には有りますが、コロナ禍前の日常に近づいています。来年はさらに感染が収束して、明るい一年になる事を願っています。

